

# 製めん適性と栽培性に優れた小麦「きぬの波」

埼玉県における小麦栽培面積は、平成18年産で約6,600haであり、その約9割を「農林61号」が占めています。「農林61号」は、長く使用されており、製粉適性や品質は一定の評価を受けているのですが、倒れやすいため、より加工適性が高く、栽培しやすい品種の導入が必要とされています。

流通面からの強い要望もあり、小麦「きぬの波」(平成9年、群馬県で育成)を認定品種として採用し、県産小麦の評価向上と安定生産を図るものです。

「きぬの波」はめんの色、食感が優れます。また、稈が短く、倒れにくく、収量も多い品種です。

表1 奨励品種決定基本調査

肥料条件	品種系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	倒伏 程度	うどんこ 病	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/ m <sup>2</sup> )	子実重 (kg/a)	同左 比率 (%)	1リットル 重 (g)	千粒 重 (g)	整粒 歩合 (%)	外観 品質	等級 (見込)
標肥	きぬの波	4.19	6.9	0.4	3.6	73	8.9	565	57.7	106	789	35.0	98.0	4.9	1.5
	農林61号	4.20	6.10	1.4	1.3	93	8.4	608	54.7	100	795	37.6	99.3	4.4	1
多肥	きぬの波	4.19	6.9	0.1	3.8	72	8.8	630	61.0	111	795	32.9	96.5	5.4	2
	農林61号	4.20	6.11	1.6	1.6	90	8.3	661	55.0	100	801	36.0	98.4	5.4	1.5

注)1. 農総研水田農業研究所内,水田条播(条間30cm),播種期:11月10~18日.標肥は1998~2003年度,多肥は1999~2003年度成績.  
 施肥(Nkg/a):標肥:(基肥)1.0(追肥6葉期)0~0.2,多肥:(基肥)1.2(追肥6葉期)0~0.2.  
 2.1リットル重は1リットル重測定器の測定値. 3.倒伏程度,病害程度は,0:無,1:微,2:少,3:中,4:多,5:甚.  
 4.外観品質は,1:上上,2:上中~9:下下の9段階評価.5.等級(見込)は関東農政局消費・安全部による評価.

表2 製粉・製麺適性品質評価

	原料試験			製粉					テストミル60%粉				製麺試験			合計
	灰分 (%)	タパク (%)	歩留 (%)	灰分 (%)	タパク (%)	C.G.V.	アミロース 含量 (%)	色	食感							
									かたさ	粘弾性	滑らかさ					
きぬの波(所内)	1.5	9.2	63.7	0.4	7.7	-1.9	26.8	14.5	7.4	18.8	10.9	72.6				
農林61号(所内)	1.6	9.6	61.0	0.4	8.1	-1.1	28.7	12.8	7.0	17.4	10.5	68.7				
農林61号(群馬標準)	1.7	8.7	65.4	0.4	7.5	-2.0	30.4	14.0	7.0	17.5	10.5	70.0				
ASW(参考)	1.2	10.5	69.5	0.4	9.4	-2.8	27.4	15.8	7.5	19.1	11.1	74.4				

注)関東地域麦新品種等品質評価協議会の分析結果.



(きぬの波 農林61号)  
株標本



(きぬの波 農林61号)  
めんの様子

(水田農業研究所 米・麦担当 TEL 048-521-5041)